

♠ 父の日によせて ♠

母の日にくらべ、どこかマイナー感のある父の日。

母の日がゴールデンウィークの華やかな時期にあるのに対し、6月第3日曜である父の日（今年は6/18）は、たいてい梅雨のまったなかであるからかもしれません。

南北戦争後のアメリカで、墓前の母に白いカーネーションを贈るのに対し、父にはバラを贈るようになり、第36代ジョンソン大統領に正式な記念日として認められたのだそうです。

天気が雨でもおとうさんをダンディに！たとえばすてきな傘や帽子、長靴やレインコートなどをプレゼントしてみてもいいでしょうか。

おとうさんに、手作りのブックカバーにしおりをはさんで、おすすめの本といっしょに、というのもすてきですね。

雑誌「UOMO」集英社

『お父さんのおしゃれ事典』成美堂出版【589オ】

『イイダ傘店のデザイン』飯田純久／著【589イ】

『THE ACCESSORIES ビジネス小物の教科書』【589シ】

『ブックカバーとノートカバーの作り方』【594エ】



きょうかしよ ぼん よ 教科書本を読もう！

『おむすびころりん』【E2 オム】

おじいさんが おべんとうの おむすびを あなのなかに
おとしてしまいました。すると・・・

♪ おむすびころりん すっとんとん ♪

じめんのそこから たのしいうたが きこえてきました。

1^{ねんせい}年生の 国語^{こくご}の教科書^{きょうかしよ}に のっています。

有名^{ゆうめい}なお話^{はなし}ですが、実は絵本^{えほん}によって いろいろ^{けつまつ}な結末^{けつまつ}があります。

くらべて読^よんでみるのも おもしろいですよ！

目白図書館 月刊情報誌

6 2017

We [ウィー] hite ye



6月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7 ☺ ☀	8	9	10
11	12	13	14 ☀	15	16	17 🎵
18	19	20	21 ☀	22	23	24 🎵
25	26	27	28 ☀	29	30	

7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5 ☺ ☀	6	7	8
9	10	11	12 ☀	13	14	15
16	17	18	19 ☀	20	21	22
23/30	24/31	25	26 ☀	27	28	29 🎵

- ☀ マークのついている日はあいうえおはなしかいです。(15時からB1 集会室にて)
- ☺ マークのついている日はあかちゃんおはなしかいです。(14時からB1 集会室にて)
- 🎵 マークのついている日はスペシャルイベントがあります。

豊島区立目白図書館

〒171-0031 豊島区目白4-31-8

☎03-3950-7121

●開館時間●

平日 9:00~20:00

土・日・祝日 9:00~18:00

●休館日●(第1月曜日・第4金曜日)

【6月】5日(月) 6日(火) 23日(金)

※6月6日は、特別整理期間による休館日となります。

【7月】3日(月) 28日(金)

スペシャルイベント

6月17日	大人のおはなし会
6月24日	かがくこうさくかい
7月29日	としょかんタンテイ & しらべもの講座

6月のイベント：「赤い鳥」スペシャルイベント

作家が語る『子どもの本のひみつ』

「子どもの本」の創作に関わっている作家をお迎えし、創作の秘密や、子どもの本の知られざる魅力・意義をテーマとしたトークイベントを行います。

絵本・幼年童話・YA文学・ノンフィクション・児童詩・翻訳と、多様な表現を含む「子どもの本」は、いま、どこへ向かおうとしているのでしょうか。

この時代に、「児童文学」にはどんな意味があるのでしょうか。

今回は、画家・詩人で児童文学作家としても活躍されている陣崎草子さんと、

トルコを中心に広い世界を舞台にした児童文学を手がける作家・新藤悦子さんがゲストスピーカー。

お二人からじっくり、お話をうかがいます。

■日 時：6月17日(土) 15時～17時(受付14時半～)

■会 場：豊島区立目白図書館 地下区民集会室

■定 員：30名(当日受付・先着順)

■資料代：500円

<ゲストプロフィール>

新藤悦子 (しんどうえつこ)

作家。『青いチューリップ』(講談社)で、日本児童文学者協会新人賞を受賞。トルコやイランを題材にした作品が多く、『月夜のチャトラパトラ』(講談社)はトルコ語訳も出版された。近作に『イスタンブルで猫さがし』(ポプラ社)、『さばくのジン』(こどものとも・福音館書店)など。

陣崎草子 (じんさきそうこ)

画家、絵本作家、児童文学作家、歌人。『草の上で愛を』で講談社児童文学新人賞佳作を受賞。その他、児童文学に『片日の青』(講談社)、『桜の子』(文研出版)。絵本に『おむかえワニさん』(文溪堂)、歌集に『春戦争』(書肆侃侃房)など。

かがくこうさくかい 参加者募集中!

6月24日(土)14時～、B1集会室

糸電話は電気ではないのになぜ声が聞こえて、お話しできるのでしょうか？
今回は、音が伝わるしくみを理解していきながら、さらに面白い声が聞こえる「ワンダー糸電話」を作ります。

●お問い合わせ、お申し込みは目白図書館まで。定員：30名。

今月の特集展示

一般コーナー 「江戸の生活」

時代劇に登場する江戸の人々は、どんな生活をしていたのでしょうか。
400年前の当時の暮らしやしきたりがわかります。

YAコーナー 「言葉 あなたに伝えたい言葉がここにある」

素敵なあの人が残した言葉、知らない誰かの言葉。
誰もが元気や勇気をもらえる本を集めました。

じどう

児童コーナー 「^{あめ}雨の^ひ日も^{たの}楽しいよ！」

しとしと ぽつぽつ ^{あめ}雨が^ひふる日は みんな なにしてる？
^{ほん}本のなかで あそんでみよう！！



【館長だより ～めじろの森から～】

5月の目白図書館のイベント・生物多様性プロジェクトでは、子どもたちや保護者の方を合わせて総勢20名ほどで近隣の公園「目白の森」を散策しました。ちょうど春から夏への^{はざかいき}端境期、目につく花や昆虫は少なかったのですが、それでもあの小さな雑木林の中はたくさんさんの生物でいっぱいです。みんなで散策し知識を持ち寄ることで、新しい発見を楽しむことができました。ただ、子どもたちが一番喜んだのは、井戸の手押しポンプでしたが…。

さて、新年度に入ってはや3つ目の月に、鬱陶しい^{うつとう}梅雨も目前のようです。図書に^{たいてき}大敵の湿気にかびと、この季節は図書館にとって気を遣う^{つか}ことの多い毎日。今からすでに、夏が待ち遠しく思えます。